

事業所のメンタルヘルスケアにおける産業医の関わり

浅地美奈 石川洋一 三道康永 高附充帆
林陽次 伴真由子 村上洋文

【目的】

メンタルヘルス問題の対策では産業医の役割が期待されているが、高知産業保健推進センターが行った『職場におけるメンタルヘルス対策に関する調査』で、事業場で問題が発生した場合産業医が対応した事例は10%に過ぎなかった。そこで、産業医が職場のメンタルヘルスケアにどのように関わっているかについてを調査した。

【方法】

高知県産業保健推進センターに登録されている認定産業医 217 名を対象にアンケート調査を行った。また、産業医のメンタルヘルス活動の実際や役割について、専属・(専任及び兼務)、嘱託産業医各 1 名、精神科医 1 名に対してインタビュー調査をした。

【結果】

アンケート調査の回答は 83 名から得た。その中の嘱託産業医 50 名中、過去 3 年間にメンタルヘルス問題を経験したのは 19 名、その内実際に職場復帰に関与していたのは 12 名であった。

嘱託産業医としてのメンタルヘルス問題への関わり方は相談に応じるというものが最も多く休職者の職場復帰システムへの関与が最も低かった。

メンタルヘルス事例に関わった経験がある産業医とない産業医とを比較すると、一次・二次・三次予防を通して、個々に差は見られたが、経験のある産業医の対策への関与が多かった。

インタビュー調査では、専任の専属産業医は、メンタルヘルス問題への対策に一次予防から三次予防まで全面的に関わっていた。兼務の専属産業医では、事業所そのものが一次予防は実践しておらず、二次予防は保健師を通して相談に応じており、三次予防である職場復帰プログラムは、あるが機能していなかった。嘱託産業医では、1 事業所ではその多くを保健師が担当し、産業医は二次・三次予防で保健師が医師の判断が必要と考えたときにのみ関わっていた。他の事業所では、メンタルヘルスの問題が発生した事例がなく、メンタルヘルスに対する取り組みが行われていなかった。

【結論】

調査結果から事業所のメンタルヘルス対策に対する産業医の役割として、以下の 2 つが重要であると考えた。①事業場のメンタルヘルス対策の指針策定、産業保健スタッフ充実などの助言、②三次予防における職場復帰システムの充実を図り、積極的に関与する。